取組名称	子どもたちの「いってきます」を支える！全国初『制服オーナー制度』『サブスク』を取り入れた制服リユース「Mama’s 制服バンク」事業			団体設立後の経過年数	24年目
応募取組主体名称	特定非営利活動法人Ｍａｍａ´ｓ　Ｃａｆｅ	活動地域	岐阜県多治見市 岐阜県土岐市	応募取組の活動年数	４年目
取組主体の種別	企業　／　学校　／　NPO・任意団体　／　自治体　／　地域コミュニティ　／　個人　／ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください）／その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞／子どもエンパワーメント賞／環境と福祉賞／環境地域ブランディング賞／環境ひとづくり賞／環境社会イノベーション賞／地球と人への想いやり賞／SDGsビジネス賞／EXPO2025 いのち動的平衡賞				

取組の要旨

入学にあたり10万円～16万円かかる制服代は、保護者にとって大きな経済的負担になっています。一方で、卒業後にまだ使えるのにゴミとなってしまう制服。この両方を解消するため、制服リユースの仕組み「Mama’s 制服バンク」を立ち上げました。「再販」だけではなく「サブスク」と「制服オーナー制度」という新しい仕組みを加えることで、新品購入一択だった制服購入に多様な選択肢を作りました。この仕組みは子どもの貧困支援にもつながっています。

実績の要旨

2022年に始めた「Mama’s 制服バンク」は年々利用者が増え、市内中学に入学する子どもの約1割がリユース制服を利用するまでに広げることができました。（3年で利用者数5.7倍、計927枚）サブスク利用者は3名、今年度新たに始めた『制服オーナー制度』では、1口13万円の制服オーナーの募集に11名がオーナーとして名乗りをあげてくれています。

取組評価の要旨		
	環境への貢献	ゴミとなって処分されてしまうはずだった制服をリユースし、環境負荷を低減。
	社会・経済への貢献	困窮家庭の経済的負担を軽減。クリーニングは地域の社会就労センターに依頼し、障がい者の雇用を創出。
	地域資源の活用	地域で行き場のなかった制服を活用。また、地域の子ども達のために貢献したい企業・団体・個人の方に制服オーナーになっていただく。
	普及・汎用性	制服の抱える問題点は全国共通です。「制服バンク」の仕組みは、全国の子育て支援のNPOで取り入れやすいもので拡大の可能性があります。
	革新・ユニーク性	リユース制服販売に加え、制服オーナー制度とサブスク制度をとりいれた全国初の取り組み。環境だけでなく子どもの貧困支援にもつなげている。
	継続性	学校・PTA・行政・地域住民・地元民間企業を巻き込み、それぞれの課題解消につなげることで、継続的な運営を可能としています。

展望の要旨	制服オーナー制度とサブスクを取り入れたこの「Mama’s 制服バンク」を全国に拡げ、制服の「もったいない」と「困っている人」を減らします。